

岩手県版農業生産工程管理
(岩手県版GAP)

マニュアル
[改訂版]

平成20年1月
(最終改訂：平成30年7月)
岩手県農林水産部

目 次

	ページ
第1 岩手県版農業生産工程管理（岩手県版GAP）について	1
1 農業生産工程管理（GAP）の目的	1
2 岩手県版GAPの作成及び改訂の経緯	2
3 岩手県版GAPとその特徴	2
4 岩手県版GAPの取組にあたって	3
第2 岩手県版GAPの取組方法	4
1 目的の確認と作業計画の作成（Plan）	4
2 チェックシート内容の実践と生産履歴の記帳（Do）	4
3 栽培管理記録簿の点検・評価（Check）	5
4 作業計画の見直し・改善（Action）	5
参考資料	6
1 岩手県版GAPの概要	6
2 岩手県版GAPチェックシートの点検の仕方	9
3 岩手県版GAPのレベルアップ ～こんな項目にも取り組みましょう～	32
参考様式	49
1 岩手県版GAPチェックシート	49
2 栽培管理記録簿（様式例）	75

第1 岩手県版農業生産工程管理（岩手県版GAP）について

1 農業生産工程管理（GAP※）の目的

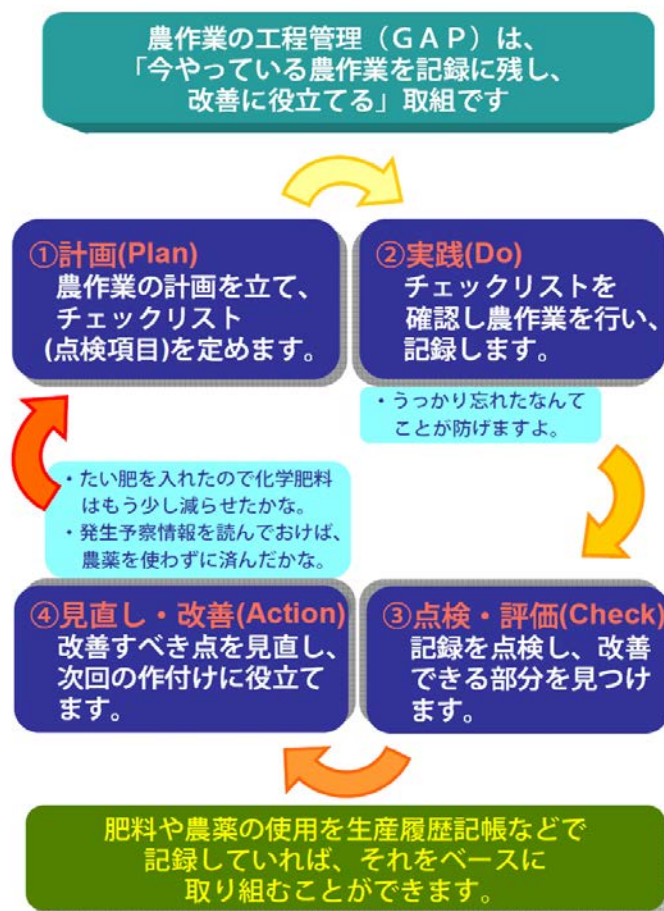
- 自動車の運転、スポーツ、家事など、人の活動には必ず何らかの「危険」ともありません。農業生産も例外ではありません。生産物や圃場周辺の環境の汚染、農作業事故など様々な危険があります。

普段の農作業について一つ一つ点検し農業生産にともなう危険をできるだけ少なくすること（リスク管理）でこれらの事故の発生を防ぐのがGAPの取組です。（※GAP：Good Agricultural Practiceの略称）

【農業生産にともなう危険】

- ・生産物 → 農薬残留、有害微生物汚染、重金属含有 等
- ・周辺環境 → 農薬飛散、肥料養分流出 等
- ・作業員 → 農薬中毒、機械作業事故 等

- GAPに取り組むことにより、農産物の品質向上や作業の効率化などの効果も期待できます。



（農林水産省資料より）

2 岩手県版GAPの作成及び改訂の経緯

- GAPは、環境と調和の取れた農業生産活動や産地の形成、農産物の生産・加工・流通・販売の各段階における安全及び品質の確保などを進める「環境と共生する産地づくり」にとって有効な手段です。
- 岩手県ではGAPを全県的な取組とするため、平成20年1月に「岩手県版農業生産工程管理（岩手県版GAP）」を作成し、GAPの入門編として主要な産地における取組を推進しています。
- 平成22年4月に、農林水産省では「農業生産工程管理（GAP）の共通基盤に関するガイドライン(以下、国ガイドラインと表記)」を策定し、GAPに取り組む上で特に実践を奨励すべき事項を提示し、以後、随時改訂が行われてきました。

これを踏まえ、岩手県版GAPを「入門編」としてだけでなく、高度な内容を含む取組としても活用できるよう、これまでの内容を基本として、国ガイドラインに準拠するよう、随時改訂を行っているところです。

国ガイドライン完全準拠のGAP取組とする場合は、岩手県版GAP「基本様式」のほか、「レベルアップ様式」の取組が必要です。

3 岩手県版GAPの特徴

○岩手県版GAPとは

これまで、本県のJAグループが全国に先駆けて取り組んでいる「純情手帳」の取組（生産履歴の記帳活動）をベースに、県内の各作物、各地域に共通する取組内容（生産工程）について、次に示す「4つの視点」に対応する取組内容をチェック、改善していくことを基本としています（詳細：参考資料の1、2）。

実施にあたっては、具体的な取組内容として提示している「チェックシート（基本様式・レベルアップ様式）」を使って行います。

【岩手県版GAPの4つの視点】

- | | |
|-----------------|-----------------|
| ①農業生産における環境への配慮 | ②農作物の安全性についての配慮 |
| ③農作業の安全確保のための配慮 | ④農作物の信頼確保のための配慮 |

○特徴

- ・ 岩手県内の多くの生産者が取り組めるよう、基本的な取組内容をチェックシート「基本様式、レベルアップ様式」として示しています。
- ・ J Aグループの「純情手帳」の取組をベースとした生産活動の点検・評価ができ、また産地全体での取組が可能です。
- ・ チェックシートの基本様式の内容以外にも取り組むべき項目があれば、それを追加して取組内容のレベルアップが可能です。
- ・ 基本様式には、農林水産省の「農業生産工程管理（GAP）の共通基盤に関するガイドライン」にある項目も取り入れていますので、より高度な民間のGAPに取り組む際の入門編としても活用できます。
- ・ 国ガイドライン完全準拠のGAP取組とする場合は、岩手県版GAP「基本様式」のほか、「レベルアップ様式」の取組(P32～48)が必要です。

4 岩手県版GAPの取組にあたって

(1) 産地としての取組

岩手県版GAPは、生産履歴を記帳していれば誰でも取り組める内容となっています。

産地のリスク管理や消費者等からの信頼確保のため、J Aの生産部会や産直組合など、産地としてまとまって取組を行いましょう。

(2) 取組内容のレベルアップ

岩手県版GAPでは、チェックシートの基本様式を示していますが、産地により、基本様式に示した事項以外にも取り組むべき項目があれば、様式に追加して内容を充実させましょう（詳細：参考資料の3）。

(3) 「農業生産工程管理（GAP）の共通基盤に関するガイドライン」への対応

農林水産省では、食品安全や環境保全、労働安全に関する法律や制度等を踏まえ、特に実践を奨励すべき取組をガイドラインとして示しています。取組内容のレベルアップにあたっては、このガイドラインを参考にしましょう。

【参考】農林水産省HP「農業生産工程管理（GAP）に関する情報」

(<http://www.maff.go.jp/j/seisan/gizyutu/gap/index.html>)

(4) 高度なGAPへのステップアップ

岩手県版GAPの取組を足がかりに、流通業者や量販店との直接取引に結びつく、J GAP等の認証GAPなど、より高度なGAPに取り組みましょう。

第2 岩手県版GAPの取組方法

1 目的の確認と作業計画の作成 (Plan)

(1) 岩手県版GAPの目的の確認

岩手県版GAPの取組にあたり、まずは何のために行うのか、チェックシート(P36～40)の目的の欄を確認しましょう。

各目的の考え方については、参考資料の1(P6)を参照してください。

目的	項目	チェック	No.	内容
(1) 土づくりの励行	有機物施用による土づくりを行いましたか	<input type="checkbox"/>	(1)-1-1	<input type="checkbox"/> 堆肥、稲わらなどの有機物を施用している
			(1)-1-2	<input type="checkbox"/> 有機質資材を施用している
			(1)-1-3	<input type="checkbox"/> 緑肥を栽培している
(2) 適切な施肥	肥料は栽培マニュアル等の施肥基準に基づいて施用しましたか	<input type="checkbox"/>	(2)-1-1	<input type="checkbox"/> 施肥基準に基づき施用した
			(2)-1-2	<input type="checkbox"/> 土壌診断に基づき施用した

(2) 作業計画の作成

チェックシートの項目と内容の欄を読み、具体的に何をすべきか確認した上で、自分の農作業の計画を立てましょう。

各項目と内容の考え方については、参考資料の2(P9)を参照してください。

また、その他にも取り組むべき項目や内容があれば、チェックシートに付け加えていきましょう。

目的	項目	チェック	No.	内容
(1) 土づくりの励行	有機物施用による土づくりを行いましたか	<input type="checkbox"/>	(1)-1-1	<input type="checkbox"/> 堆肥、稲わらなどの有機物を施用している
			(1)-1-2	<input type="checkbox"/> 有機質資材を施用している
			(1)-1-3	<input type="checkbox"/> 緑肥を栽培している
(2) 適切な施肥	肥料は栽培マニュアル等の施肥基準に基づいて施用しましたか	<input type="checkbox"/>	(2)-1-1	<input type="checkbox"/> 施肥基準に基づき施用した
			(2)-1-2	<input type="checkbox"/> 土壌診断に基づき施用した

2 チェックシート内容の実践と生産履歴の記帳 (Do)

(1) チェックシート内容の実践

作業計画に沿って実施し、チェックシートの内容を実践するよう努めましょう。

(2) 生産履歴の記帳

各作業が終了するごとに、農薬や肥料、作業内容について、自分が、「いつ」、「どのような資材を使ったのか」、「どのような作業をしたのか」など、あとで確認できるよう、栽培管理記録簿にしっかりと記帳しましょう。

JAGグループの「純情手帳」をつけている人はそれを活用してください。また自分でノートなどをつけてもかまいません。

栽培管理記録簿の様式がわからない場合は、本マニュアルに参考様式を示している(P41～)ので参考にしてください。

(3) 証拠書類等の保存

栽培記録簿や購入伝票など証拠となる書類は大切に保存しておきましょう。書類の保存期間は3年が目安です。

3 栽培管理記録簿の点検・評価 (Check)

(1) チェックシートの記入

一作（または1年の作業）が終わったら、記帳した栽培管理記録簿を見ながら取り組んだ内容を点検し、チェックシートに記入します。

- ① 栽培管理記録簿を見ながらチェックシートの各内容を点検し、実践した内容（小さな□）にチェックマークをつけてください。

目的	項目	チェック	No.	内容
(1) 土づくりの励行	有機物施用による土づくりを行いましたか	<input type="checkbox"/>	(1)-1-1	<input checked="" type="checkbox"/> 堆肥、稲わらなどの有機物を施用している
			(1)-1-2	<input type="checkbox"/> 有機質資材を施用している
			(1)-1-3	<input type="checkbox"/> 緑肥を栽培している
(2) 適切な施肥	肥料は栽培マニュアル等の施肥基準に基づいて施用しましたか	<input type="checkbox"/>	(2)-1-1	<input type="checkbox"/> 施肥基準に基づき施用した
			(2)-1-2	<input type="checkbox"/> 土壌診断に基づき施用した

- ② 内容欄に一つでもチェックマークがついたら、チェック欄の□に「○」を記入してください。

目的	項目	チェック	No.	内容
(1) 土づくりの励行	有機物施用による土づくりを行いましたか	<input checked="" type="checkbox"/>	(1)-1-1	<input checked="" type="checkbox"/> 堆肥、稲わらなどの有機物を施用している
			(1)-1-2	<input type="checkbox"/> 有機質資材を施用している
			(1)-1-3	<input type="checkbox"/> 緑肥を栽培している
(2) 適切な施肥	肥料は栽培マニュアル等の施肥基準に基づいて施用しましたか	<input type="checkbox"/>	(2)-1-1	<input type="checkbox"/> 施肥基準に基づき施用した
			(2)-1-2	<input type="checkbox"/> 土壌診断に基づき施用した

(2) 取組の評価

- ① チェック欄に○のつかなかった項目はありますか？

○のつかなかった項目については、なぜ取り組むことができなかったのか、まず自分で考え、改善点を見つけましょう。

- ② 自分で考えただけでは気づかない改善点もあります。JAの生産部会等で取り組んでいる場合は、みんなでチェックシートの点検結果を検討するなど、他の人の視点も交えて改善点を考えましょう。

また、これにより産地全体としての取組の改善につなげましょう。

4 作業計画の見直し・改善 (Action)

(1) 作業計画の見直し・改善

取組の点検・評価で見つけた改善点について、次の作付けでは実行できるよう作業計画や方法を見直しましょう。

(2) 次作での実行

次回の作付けでは、○がつかない項目（改善点）について意識して取組み、チェック欄の○を増やしていきましょう。また、内容欄の小さな□にもできるだけたくさんチェックできるよう努力しましょう。

【留意事項】

チェックシートや栽培履歴を記帳しただけでは、GAPの取組とは言えません。チェックシートに○のつかない項目を次回の作付けで○がつくよう改善していくことがGAPの取組です。

参考資料

1 岩手県版GAPの概要

岩手県版GAPは環境負荷低減と安全な農産物の生産のため、以下の視点により目的を整理しています。

(1) 農業生産における環境への配慮

環境に配慮した快適な県土づくりは県民全員が取り組まなければならない課題です。農業においても、環境の負荷を低減する「環境保全型農業」に積極的に取り組みましょう。

①土壌への配慮

土づくりは、農作物の生産において最も基本となる技術です。また、土づくりにおける堆肥等の有機物の利用は、資源を活用した循環型農業の観点からも重要です。

そのため、岩手県版GAPでは「**土づくりの励行**」を目的とした項目と内容が記載されています。

②水への配慮

農業にとって水は必要不可欠であり、農作物の栽培だけでなく、田畑やその周辺に住む動植物にも必要なものです。肥料を過剰に投入すると、余分な成分が流れ出し、地下水や河川を汚染する原因となります。

そのため、岩手県版GAPでは「**適切な施肥**」を目的とした項目と内容が記載されています。

③大気への配慮

農業においても、石油などの化石燃料や電力を消費すれば温室効果ガスである二酸化炭素が発生することから、それぞれの営農において、エネルギーの使用に際しては常に節減を心がけることが重要です。

そのため、岩手県版GAPでは「**エネルギーの節減**」を目的とした項目と内容が記載されています。

④廃棄物の削減

農業生産に伴い、使用済みのプラスチックフィルムや農薬や肥料の空容器、廃農薬、作物残さなど様々な廃棄物が排出されます。これらは適切に処理しなければ、ダイオキシンの発生源になったり、水質を汚染するなど環境に悪影響を与えます。

そのため、岩手県版GAPでは「**廃棄物の適正な処理**」を目的とした項目と内容が記載されています。

⑤生態系への配慮

農業は、自然の多様な生物が関わる循環機能を活かした活動であり、農村の環境は生物多様性保全に大きく貢献しています。そこで、生態系への影響を考慮して、雑草や病害虫の発生に応じて耕種的な防除を導入するなど必要最低限の農薬の使用にとどめる努力が必要です。

そのため、岩手県版GAPでは「適切な防除」を目的とした項目と内容が記載されています。

(2) 農作物の安全性についての配慮

全ての食品は安全であることが基本です。農業においても、消費者に安全な農産物を届けるために、農薬の使用や出荷時の衛生管理を適正に行いましょう。

①農薬の使用

農薬は農作物の安定生産に欠くことのできない重要な資材ですが、消費者の中には、農薬に対する漠然とした不安を抱いている人も少なくありません。農薬は、農薬取締法に基づき、わが国で登録されたものを、ラベルの記載事項をよく読み、使用基準に従って使用していれば安全な農作物を生産できます。

そのため、肥料と間違っ農薬を使用したり、使用する農薬を間違えたりしないようきちんと整理しておくことが重要です。

岩手県版GAPでは「適切な防除」「適切な資材管理」を目的とした項目と内容が記載されています。

②農薬の残留

平成18年5月にポジティブリスト制度が施行され、すべての農薬と作物の組合せで農薬の残留基準が定められました。この基準を超えて農薬が残留していた場合、農産物は市場、流通から排除されます。農薬の使用基準に従って使用していても散布時に、近隣のほ場へ飛散する危険性もあります。

そのため、岩手県版GAPでは「農薬飛散・残留防止対策」を目的とした項目と内容が記載されています。

③異物・有害物質、異品種等混入防止

農作物の栽培及び出荷調製の際には病原性の微生物や、腐敗果や小石などの異物が混入するリスクや異品種混入のリスクがあります。また、小麦の赤カビ病はDONという毒素を作ることがあります。農産物の栽培及び出荷調製ではこれら異物や有害物質等の混入を防止する対策が必要です。

そのため、岩手県版GAPでは「衛生管理品質確保（異物・有害物質等混入防止）」、「異品種混入防止」を目的とした項目と内容が記載されています。

(3) 農作業の安全確保のための配慮

農作業での安全確保は、作業者の生命を守ることはもとより、安定した農業生産を継続していく上でも不可欠です。日頃の農作業や作業環境を点検・改善して農作業の安全を確保しましょう。

①農作業の安全確保

農作業を安全に行うことは、農業生産や農業経営の安定を図る上で、基本的かつ重要な事項です。また、農業者自身で工夫・改善をすることで、安全性だけでなく快適性・効率性も格段に向上します。

そのため、岩手県版GAPでは「**農作業安全**」を目的とした項目と内容が記載されています。

(4) 農作物の信頼確保のための配慮

農業者が安全な農産物の生産に努めても、それでも「不安」と感じる人もいます。「安全」と「安心」は必ずしも一致しないものです。

農作物に対して消費者が「安心」するためには、生産者が消費者に対して自らの取り組みを見せられる状態にあること、すなわち消費者の知りたい情報の内容を直ちに提供できることが必要となります。

①生産履歴の記帳

農業生産に伴う記録を残しておくことは、自らの安全・安心な農業の取り組みの証明となります。また、有事の際の迅速な原因究明は、消費者や実需者の信頼確保につながります。

そのため、岩手県版GAPでは「**生産情報の保存**」を目的とした項目と内容が記載されています。

②情報の収集

これまで述べてきた農作物の生産に伴う環境対策や農作物の安全対策、農作業の安全確保を確実に行うためには、これらに関する新たな知見と、適切な対処に必要な情報の収集に努めることが大切です。

講演会や研修会、指導会に積極的に参加して、必要な情報収集に努めましょう。それは、農業者自身のためであることはもちろん、その取り組みを消費者にアピールすることにより、「安心」を提供することにもつながります。

そのため、岩手県版GAPでは「**情報の収集**」を目的とした項目と内容が記載されています。